

ACTIVE CLUTCH

Single to Twin

取 扱 説 明 書

製品ご購入後、取付け前に必ずお読みください。

BLITZ

目次

① はじめに	1
② 安全上のご注意	2
③ 製品の特徴	3
④ 取付前後の注意事項	3
⑤ 構成部品及び付属品リスト	4
⑥ クラッチの取付に際して	5
⑦ 取付手順	
1. トランスミッションの脱着	5
2. クラッチ取付	6
3. 専用クラッチレリーズフォーク変換キットの取付方法	7
4. 専用クラッチレリーズシリンダーの取付方法	8
⑧ 使用上の注意	1 1
⑨ 専用レリーズキット取り付け TOYOTA:1JZ	1 2
⑩ 専用レリーズキット取り付け NISSAN:R34 GT-R	1 3
⑪ ER34・BCNR33・BNR32後期用 プル→プッシュ作動変換パーツ取付方法	1 5
⑫ 各部の締め付けトルク	1 8
⑬ クラッチレリーズスリーブ基準寸法	1 9
⑭ クラッチレリーズスリーブ純正品番表	1 9
⑮ 故障と思う前に	1 9

① はじめに

- この度は弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
- この取扱説明書には製品を使用する際と装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって正しくお使いください。
- 本書はいつでも取り出して読めるように車内に大切に保管してください。
- 取扱説明書は、必ず使用者にお渡しください。
- 注意事項および使用上の注意は必ず守って使用してください。
- 装着前に落したり、装着時に無理な力を加えると装着不良や動作不良で故障の原因になる場合がありますので注意してください。
- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために守って頂きたい事項を示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

② 安全上のご注意

この取扱説明書には製品を使用する際と装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって正しくお使いください。

警 告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

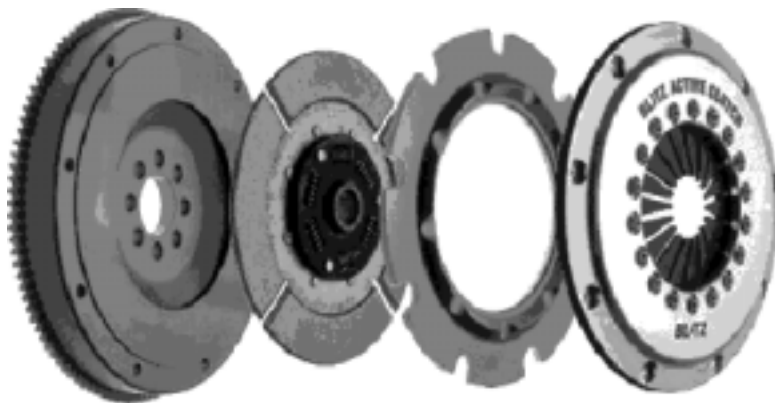
- 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
- 換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。そのまま使用すると、車両の故障や破損の原因となります。
- この製品の取り付け時に、エンジンルーム内や車両下面の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・駆動系・車両の破損の原因となります。

注 意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- この製品の加工・改造は行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
- この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたり、動作不良を起こしたりする事があります。
- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- 当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

③ 製品の特徴



- 高い圧着力でもリリースのレバー比を見直し、軽い操作性を実現しました。
- 大径ディスクを採用して伝達トルクを大きくし、扱いやすくても大パワーに対応しました。
- 伝達トルクの緩やかなディスク材を使用し、半クラッチ時に扱いやすいクラッチとしました。
- シングルクラッチを基本とし、幾つかのパーツを追加・交換するだけでより大容量のツインプレートクラッチにバージョンアップできます。(一部車種を除く)
- シングルでもツインの様な操作音がします。
- 軽量フライホイール・専用スリーブベアリング付きです。
- 専用リリースフォーク変換キット付きです。(一部車種に限る)

④ 取付前後の注意事項

- 製品および関連部品の取付はトランスミッションの脱着作業に伴い、専門の知識、加工技術、特殊工具が必要です。取付は必ず専門店で行ってください。
- 適合車種以外の車両への取付は絶対に行わないでください。
- 製品取付後の車両は、走行性能が変わります。特に、発進時は十分に注意してください。車両の動きになれるまでは急激な操作を避けてください。
- 製品取付後、車両に異常を感じた場合は走行中を問わずただちに運転を中止し、エンジンを停止してください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。

注 意

パーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切責任を負いません。指示のない部品は、必ず自動車メーカーの該当する純正部品をご使用ください。

製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

警 告

この部品は競技用特殊部品につき、クレーム返品には応じかねます。また、仕様・価格、その他の変更は予告なく行うことがあります。

⑤ 構成部品及び付属品リスト

 フライホイール 1 個	 アクティブシャフト 9 個 (フライホイールに組付済み)	 クラッチディスク 1 個 (ツインの場合は 2 個)
 ミッドプレート 1 個 (ツインの場合のみ)	 プレッシャープレート 1 個	 クラッチカバー 1 個
 リリースベアリング 1 個 (付属品の詳細は別表参照)	 リリースフォーク変換キット 1 個 (付属品の詳細は別表参照)	 クラッチカバー取付ボルト 9 個
 ロックワッシャー 9 個	 フライホイール取付ボルト (付属品の詳細は別表参照)	 取扱説明書 1 個

⑥ クラッチの取付に際して

ブリッツ・アクティブ・クラッチ・キットは、指定された車種以外には取り付けないでください。取り付けは弊社の指示に従ってください。

また、指示の無いものに関しては各自動車メーカーの整備書等をご参照ください。

警 告

取付を行う前に必ず本書をよく読んでから作業に入ってください。

- 作業のため、一時的に外す部品は充分注意して保管してください。特に汚れを嫌う部品および箇所についてはゴミ・ホコリ等に注意してください。
- 配線用カプラー・コネクタは破損・断線に注意して取り外し、保管してください。
- 一時的に外す部品は、間違っ取付けないようマーキング等をしておいてください。
電気ショートによるトラブルを避けるため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を始めてください。
- ガレージジャッキ、リジトラック、リフト等は所定の場所に確実に掛けてください。
取付後の点検は必ず行ってください。

⑦ 取付手順

⑦ー1. トランスミッションの脱着

詳しくは各自動車メーカー発行の整備要領書を参照してください。

1. ガレージジャッキ、リジトラック、リフト等は所定の場所に確実に掛けてください。
2. バッテリーのマイナス端子を取り外してください。
3. スピードメーターケーブルを取り外してください。
4. プロペラシャフトを取り外してください。
5. クラッチレリーズシリンダーを取り外してください。
6. リバースランプスイッチおよびニュートラルスイッチの配線を取り外してください。
7. マフラー・フロントパイプを取り外してください。
8. シフトレバーを取り外してください。
9. スターターモータを取り外してください。
10. トランスミッションAssy をミッションジャッキを使用して車両より降ろしてください。
11. クラッチおよびフライホイールを取り外してください。
12. 取り付けは取り外しの逆で行ってください。

メインドライブシャフトのスプライン部分に、肉やせ、ねじれその他の損傷は無いかチェックしてください。摩耗がひどい場合には新品と交換してください。スプラインに不具合がありますとクラッチが正常動作しなくなります。

クラッチの取付作業に入る前にクランクシャフトの後端部に圧入されている純正パイロットベアリンをチェックし、変形や摩耗がひどい場合は新品と交換してください。パイロットベアリングに不具合がありますとクラッチが正常動作しなくなったりトランスミッション故障の原因となります。

⑦ー 2. クラッチ取付

詳しくは各自動車メーカー発行の整備要領書を参照してください。

フライホイール取付ボルトは新品を必ず使用してください。

フライホイール取付ボルトは、設計上ノーマルボルトが使用できるようになっていますが、車両個体差によりボルトが底づきして、締まり切らない場合が考えられます。

この状態でエンジン始動または、運転をするとボルトが破損してクラッチ、フライホイールがミッションから飛び出し重大な事故が発生する原因になりますので注意してください。

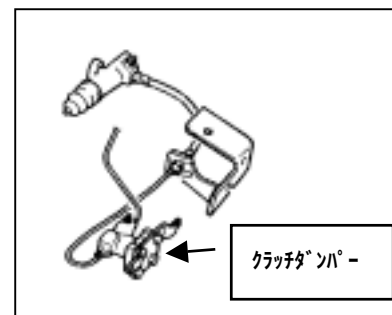
もし、ボルトが底づきする場合には、ボルトの先端を切ってください。

但し、フライホイール取付ボルトが付属されている車種については必ず付属のボルトをご使用ください。

1. クランクシャフト後端のパイロットベアリングを点検してください。
2. クランクシャフト後端のフライホイール取付用ボルト穴にゴミ等が無いことを確認してください。アドヘシブ等が残っている場合はきれいに除去してください。
3. トランスミッションのメインドライブシャフトのスプライン部の汚れをきれいな布でふき取った後、このスプライン部全周にモリブデンクラッチグリースを少量塗布し、その後指でグリースをふき取り、グリースがスプラインの溝部に残る程度としてください。
又、グリース塗布後に何度かクラッチディスクをメインドライブシャフトのスプライン部に通した後、はみ出したグリースをきれいにふき取ってください。
グリース量が多すぎるとクラッチディスクの摩擦面に遠心力でグリースが飛び散り、滑りや焼き付きの原因になることがありますので充分ご注意ください。
4. クランクシャフトにフライホイールを取り付けてください。この時、前述のようにボルトが底付きしていない事を確認してください。また、取付ボルトのねじ山にはアドヘシブ又はネジロック剤を塗布して規定トルクで締め付けてください。
各車のフライホイール取付ボルト締め付けトルクは、本説明書後部にある各部締め付けトルク一覧表を参照してください。
5. (シングルの場合) クラッチディスクのダンパー部をミッション側にして、クラッチディスク=プレッシャープレート=クラッチカバーの順に仮止めしてください。この時、クラッチカバー取付ボルトとロックワッシャーを組み合わせてください。
6. (ツインの場合) 1枚目のクラッチディスクのダンパー部をエンジン側に、ミッドプレートのスリットが入っている面をミッション側にして、次に2枚目のクラッチディスクのダンパー部をミッション側にして、クラッチディスク=ミッドプレート=クラッチディスク=プレッシャープレート=クラッチカバーの順に仮止めしてください。
この時、2枚のクラッチディスクの背面にあるリベットが互いのディスクと重ならない位置にしてください。また、クラッチカバー取付ボルトとロックワッシャーを組み合わせてください。
7. クラッチディスクのセンター出しは、必ず市販のセンター出し用工具もしくは純正SSTを使用してクラッチカバー取付ボルトを規定トルクで締め付けてください。
この時、取付ボルトのねじ山にはアドヘシブ又はネジロック剤を塗布して規定トルクで締め付けて下さい。
※ クラッチカバー取付ボルトは、数回に分けて対角に均等締め付けを行ってください。
締め付けトルク：4.5kgfm
8. クラッチリリーススリーブとトランスミッションのフロントカバーノーズ部に、クラッチグリースを、塗布して組み付けてください。はみ出したグリースは必ずふき取ってください。
グリース量が多すぎるとクラッチディスクの摩擦面にグリースが飛び散り、滑りや焼き付きの原因になることがありますので充分ご注意ください。
9. クラッチリリースフォークのピボット部とリリース接触面にクラッチグリースを、塗布して組み付けてください。専用クラッチリリースフォーク変換キットの装着方法は別項目の専用クラッチリリースフォーク変換キットの取付を参照してください。
グリース量が多すぎるとクラッチディスクの摩擦面にグリースが飛び散り、滑りや焼き付きの原因になることがありますので充分ご注意ください。

10. クラッチカバーのダイヤフラムスプリングとクラッチリリースベアリングのコンタクト面にクラッチグリースを、塗布して組み付けてください。
グリース量が多すぎるとクラッチディスクの摩擦面にグリースが飛び散り、滑りや焼き付きの原因になることがありますので充分ご注意ください。
11. トランスミッション装着時は、エンジンとミッションをできるだけ平行な状態にして極力スムーズに組付けてください。無理な組付けは、クラッチディスクを曲げる原因となり、このことによってクラッチ切れ不良やジャダー発生などを引き起こす場合がありますので充分な注意が必要です。
この時、本製品は基本的に無加工で取付出来るようにしていますが、車両や製品の個体差によってトランスミッションのフロントカバーノーズ部がクラッチディスクのハブ部と干渉してしまう場合は、フロントカバーノーズ部先端を5mm程度カットしてください。
12. トランスミッション、プロペラシャフト等を車両に取り付けた後、クラッチリリースシリンダーを取り付けてください。
この時、リリースフォークとシリンダーロッドの接触面にクラッチグリースを塗布してください。また、クラッチリリースシリンダーのブーツに傷が付いていたりフルードが漏れていないことを確認してください。ブーツに傷があるとフルード漏れの原因となり、フルードが漏れているとクラッチの動作不良やクラッチが切れない原因となります。
専用クラッチリリースシリンダーの装着方法は別項目の専用クラッチリリースシリンダーの取付を参照してください。

※ 日産車の一部車両に於いて、取付終了後にクラッチの動作確認をした時、踏み方によってクラッチの動作状況が変化したりクラッチディスクの切れが悪い場合は、図のクラッチダンパーを取り外してクラッチマスターシリンダーからの配管を直接クラッチオペレーティングシリンダーへ接続してください。

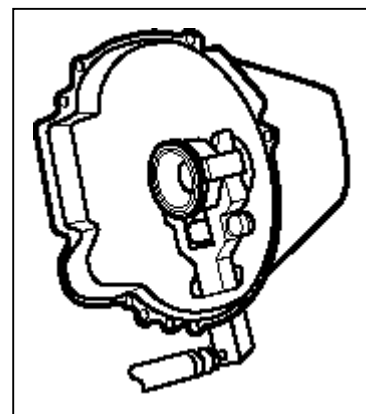


⑦ー3. 専用クラッチリリースフォーク変換キットの取付方法

TOYOTA 1JZ、2JZ

(平成15年度以降製造の分に関しては、一部パーツの変更を行いましたので、詳しくはP14の追補1を参照ください。)

1. ノーマルリリースシリンダーをボディ分岐部からクラッチホースごと取り外します。また、トランスミッション側からノーマルのクラッチディスク・カバー・リリースベアリング・スリーブ・リリースフォーク・フォークサポート（フォークの支点）を取り外します。
2. トランスミッションのフロントカバー（ノーズ部）をきれいに清掃し、ノーズ部全周にクラッチグリースを塗布します。
3. 図を参照して、フォークサポートのオフセットしている方をトランスミッションフロントカバー側に向けて、取付ボルトで取り付けます。



締付けトルク：

JZA70 ・ JZZ30 ・ JZX90 ・ JZX100 は、3.0kgfm

JZA80 は、5.0kgfm

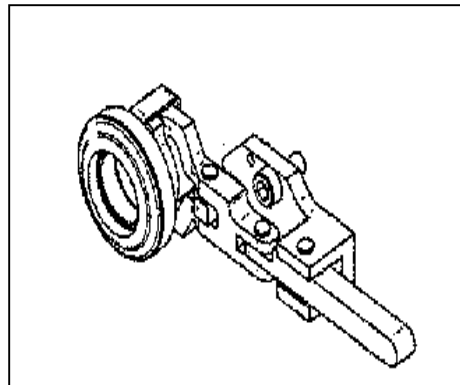
4. スリーブベアリングの内側にクラッチグリースを十分に塗布してから、フロントカバーに組付け、リリースフォークをフォークシャフト・シャフトピンにてフォークサポートに取付します。この時、フォークシャフトやリリースフォークの摺動部にもクラッチグリースを塗布してください。

NISSAN BNR34

（平成15年度以降製造の分に関しては、一部パーツの変更を行いましたので、詳しくは P15 の追補 2 を参照ください。）

1. Eリングを取り外しウィズドロアレバーシャフト、リリースベアリングを取り外します。
2. フォークサポートを取り外します。
3. トランスミッションのフロントカバー（ノーズ部）をきれいに清掃し、ノーズ部全周にクラッチグリースを塗布します。
4. 図を参照し、フォークサポートの取り付け用ボルトを利用して専用クラッチリリースフォークを取り付けてください。

締付けトルク：5.5～5.8kgfm



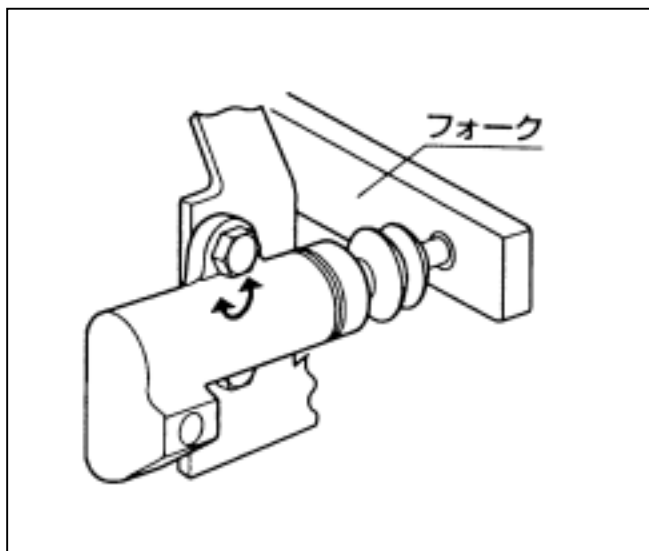
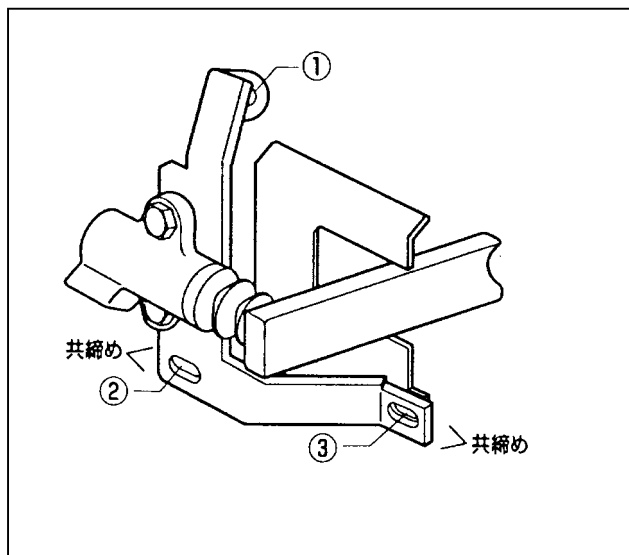
5. スリーブベアリングの内側にクラッチグリースを十分に塗布してから、フロントカバーに組付け、リリースフォークをフォークシャフト・シャフトピンにてフォークサポートに取り付けします。この時、フォークシャフトやリリースフォークの摺動部にもクラッチグリースを塗布してください。また、ミッションケース、リリースフォークの間にあるダストカバーは、必ず再使用し、取り付けしてください。ダストカバーを外しますと、フォーク摺動部にホコリ等が付着し、動きが悪くなり作動不良の原因になります。

⑦ー４．専用クラッチリリースシリンダーの取付

TOYOTA 1JZ、2JZ

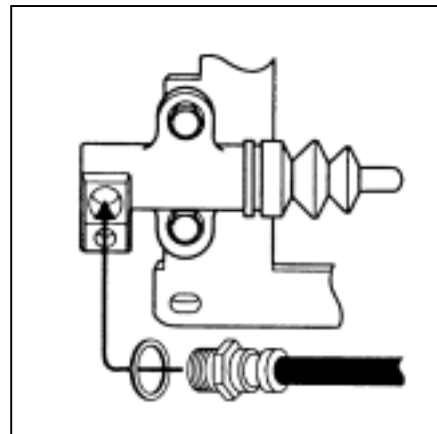
（平成15年度以降製造の分に関しては、一部パーツの変更を行いましたので、詳しくは P14 の追補 1 を参照ください。）

1. リリースシリンダーAssy をブラケットに仮止めします。
2. 図を参照しダストカバー・リリースシリンダー・ブラケットの順に A は純正ボルトで B・C は取付ボルトセット③でミッションに取り付けます。この時ピストンロッド先端にモリブデンクラッチグリースを塗布して取り付けます。

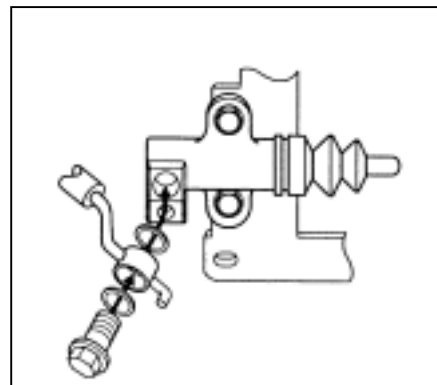


3. (JZA70の場合) 図を参照し、リリースシリンダーAssy とクラッチホースを締め付けます。

締め付けトルク：1.7～2.0kgfm



4. (JZA80, JZZ30, JZX90, JZX100の場合) 図を参照してクラッチホースバンジウ部の突起を手前に向け仮止めします。

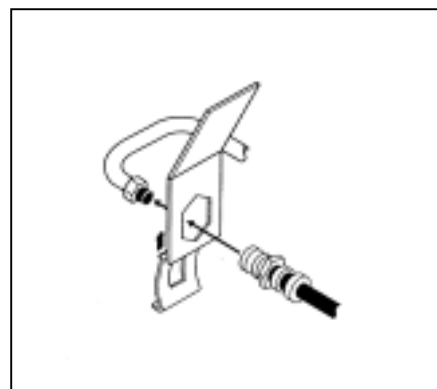


5. 上図を参照して、クラッチホースに無理な曲がりやねじれ、他の部品との接触が無いように取り付けてクリップで固定します。

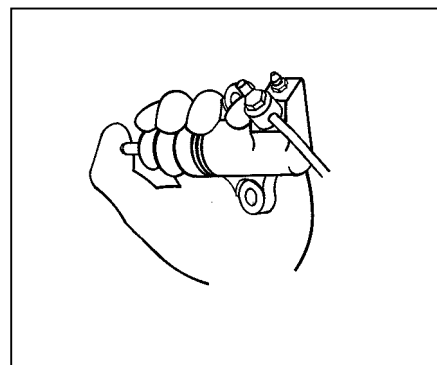
フレア締め付けトルク：1.5～1.8kgfm

JZA80・JZZ30・JZX100・JZX90は、この後リリースシリンダー側のバンジウボルトを締め付けます。

バンジウボルト締め付けトルク：1.7～2.0kgfm

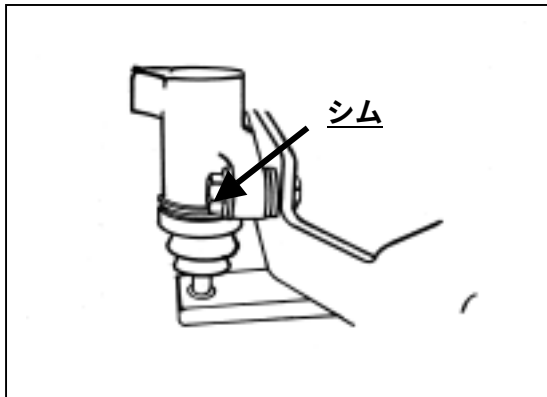


6. レリースシリンダーのエア抜きを完全に行います。本製品を取り付の際、エア抜き作業時にエアブリーダーが下側に向くためエア抜きが完全にできない場合があります。その際には、図を参照し、リリースシリンダーを取り外して、先端を指で押さえエアブリーダーを上に向け、ゆっくりとエア抜き作業を行ってください。



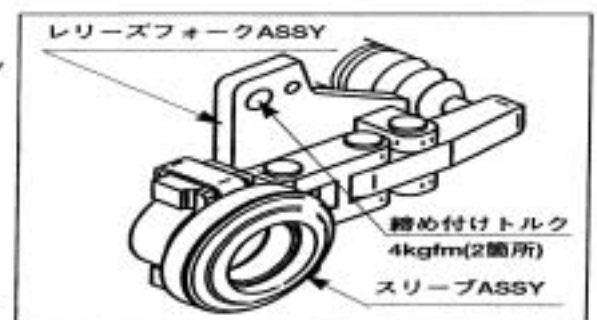
7. 最後にリリースシリンダーピストン部ストローク量を必ず調整してください。弊社確認ストローク量14mmより少なすぎますとクラッチ切れ不良の原因となりますので、再度エア抜きをするかクラッチマスターシリンダーを確認してください。

8. レリーズシリンダーASSY とレリーズフォークがレリーズシリンダーASSY の微調整(図参照)で水平・垂直に当たらないよう場合には図を参照し、シムを取り外し又は取り付け調整してください。

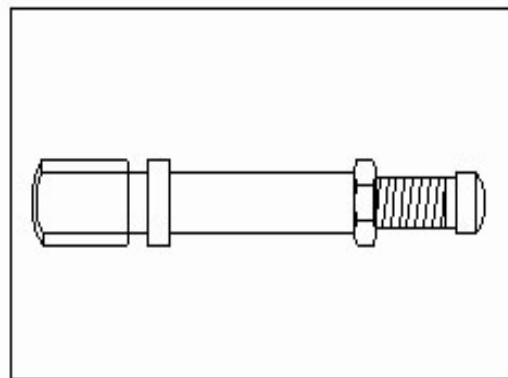


⑦-5. MAZDA

- FC 3 S と FD 3 S に取り付ける場合、別途カウンターウェイトと取り付けボルト6本が必要になります。(マツダ純正部品)
 - マツダ純正カウンターウェイト→
FC 3 S 前期 N327-11-521A FC 3 S 後期 N351-11-521
FD 3 S 前期 N351-11-521 FD 3 S 後期 N351-11-521
 - 取り付けボルト→8051-27-235×6または8051-27-236×6
- 締付けトルクは下記に示す通りです。
カウンターウェイトボルト締付けトルク：8.5～10 kgfm
フライホイールセンターナット締付けトルク：40～50 kgfm
- ツインクラッチディスクの取り付けは方向および順番を間違えないように取り付けて下さい。ディスクに書いてある番号1をフライホイール側に、2をクラッチカバー側に、2枚とも数字をクラッチカバー側に向けて取り付けて下さい。また、1枚目と2枚目のディスクのリベットが重ならないように注意して取り付けて下さい。
- クラッチディスクのセンター出しは必ずメインドライブシャフトを使用し、クランクシャフトのフライホイールを締め付けた後、クラッチディスクスプライン部の歯列を揃え、センター出しをし、クラッチカバーを締め付けてください。
- ミッドプレートの組付けは「カバー側」とインキで表示されている面を必ずクラッチカバー側に向けて取り付けてください。
- FD 3 S にはスリーブASSYとレリーズフォークASSYで構成された専用変換キット(右図)が付属されています。
- クラッチレリーズスリーブにモリブデンクラッチグリースを塗布して組付けてください。また、はみ出したグリースは必ずふき取ってください。
- メインドライブシャフトのスプライン部の汚れを落とし、このスプライン部全周にモリブデンクラッチグリースを少量塗布し、グリースがスプライン溝部に残る程度としてください。また、グリース塗布後に何度かクラッチディスクをメインドライブシャフトのスプライン部に通した後、はみ出したグリースをきれいにふき取ってください。グリース量が多すぎるとクラッチディスクの摩擦面に遠心力でグリースが飛び散り、滑りや焼き付きの原因になることがありますので充分ご注意ください。
- トランスミッション装着時は、エンジンとミッションをできるだけ平行な状態にして極力スムーズに組付けてください。無理な組付けは、クラッチディスクを曲げる原因となり、このことによってクラッチ切れ不良やジャダー発生などを引き起こす場合がありますので充分な注意が必要です。
- 変換キットは定期的にグリスアップしてください。また変換キットは消耗品です。埃や磨耗によって動きが悪くなった場合にはASSYで交換して下さい。

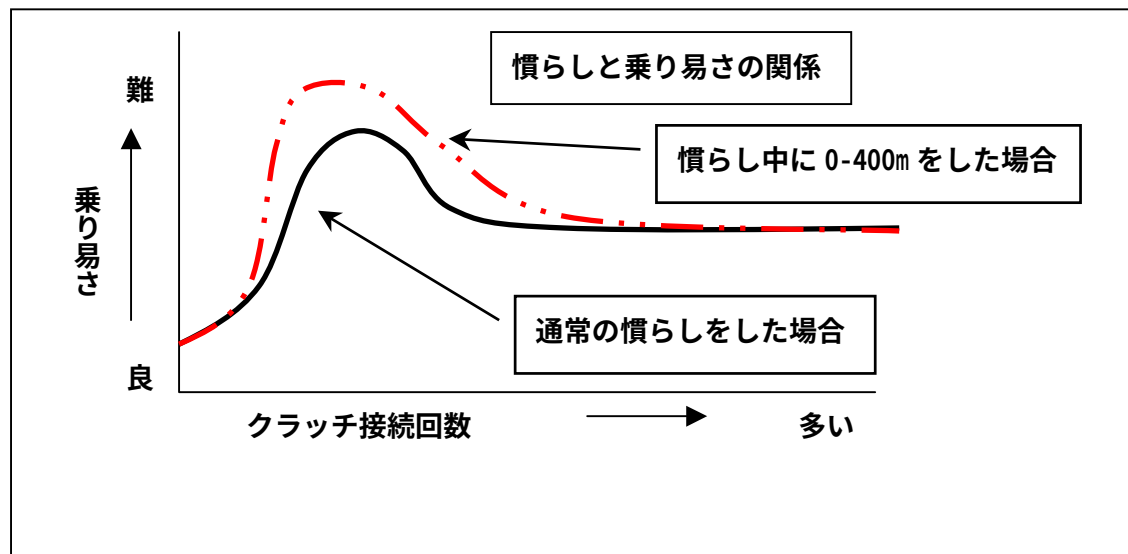


- 1 1. ノーマルのプッシュロッドを調整式のプッシュロッドに交換して下さい。その時、ブーツは再使用して下さい。
- 1 2. 調整式プッシュロッドはボルトによりロッドの長さを調整することができます。ロッドの長さを調整し、クラッチペダルのミートポイントを最適に保ってください。
- 1 3. ロッドの長さを延ばしすぎますと、リリースベアリングの押し込み量が増え、ダイヤフラムスプリングがクラッチディスクを押してしまい、ディスクが変形してしまうので押し過ぎには注意して下さい。



⑧ 使用上の注意

1. クラッチを切っている際に発生するバックラッシュ音はクラッチの構造上発生する音で異常ではありません。
2. メタルフェーシングの性質上、発進時クラッチのつなぎ方によってはジャダーが出る場合がありますが異常ではありません。
3. メタル多板クラッチの特質上、新品装着直後と慣らし後ではペダル位置が変化し、半クラッチ操作性に変化がありますが特に異常ではありません。慣らし後に再度ストローク調整することを推奨いたします。
4. トルク伝達特性の緩やかな材質の特性上、クラッチディスクの当たり面が出るまでの慣らし中に半クラッチの操作がシビアになる時がありますが異常ではありません。
5. クラッチディスクの当たり面がきれいに出る前にサーキット走行や0-400mを行いますと、クラッチディスクの当たり面が荒れて乗りにくくなりますので慣らしはしっかりと行ってください。また、クラッチディスクの当たり面が荒れてしまった場合は、更に慣らしを続行すれば当たり面がきれいに出ます。（下図を参照してください。初期の点当たり→接触面が増大→当たり面がきれいに出る迄の様子です。）



6. 多板クラッチの構造上、半クラッチを多用するとクラッチ内部が高温になり、構成部品の熱膨張、変形等で一時的に切れが悪化する事があります。この場合走行を中止し、一度冷やしてから運転を再開してください。
7. クラッチリリースベアリングは弊社指定（日産純正30502- 14601 ）を必ず使用してください。
8. クラッチリリーススリーブは、純正クラッチ装着時のクランク端面からダイヤフラムスプリング先端までの距離と、弊社製アクティブクラッチ装着時のクランクシャフト端面からダイヤフラムスプリング先端までの距離の差を基準に、リリースフォークがエンジンプロックとトランスミッションフロントカバーとの接合面に対して水平になるような長さのスリーブを選択してください。

⑨ 専用リリースキット取り付け TOYOTA：1JZ

作動変換キット取付時のエア抜き作業を容易にする為、リリースシリンダーを変更しました。

また、それに伴いブラケットの変更を行ったため、取付方法が若干変更になりました。

付属の取扱説明書を基本に、シリンダーブラケット周りの取付は以下の写真を参考にして下さい

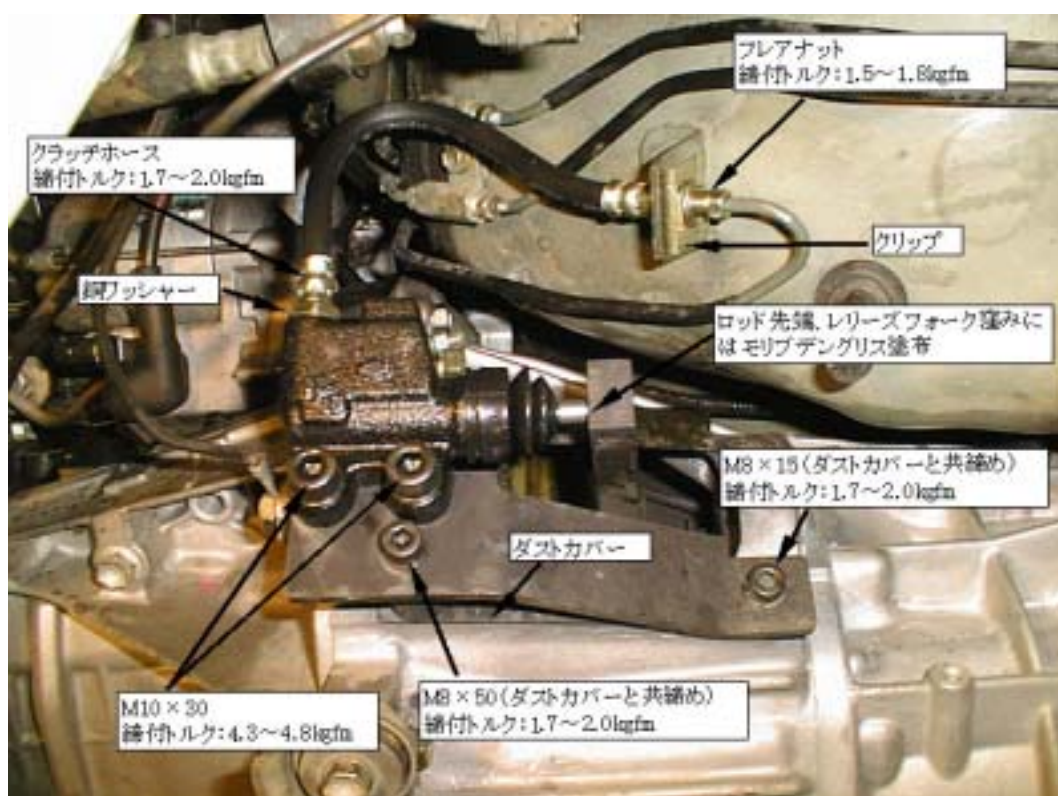
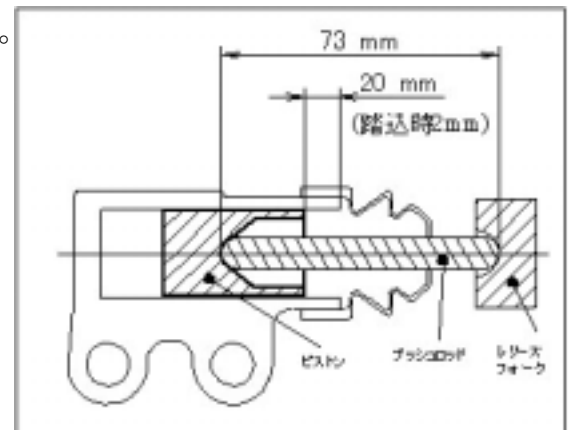
キット内容

- レリーズフォーク ●ダストカバー ●フォークサポート ●リリースシリンダー
- レリーズシリンダーブラケット ●フォークシャフト ●シャフトピン
- ウェーブワッシャー ●ホース止めクリップ ●リリーススリーブベアリングセット
- クラッチホース ●銅ワッシャー
- フォークサポート取付ボルトセット：①M8-20×2
- レリーズシリンダー取付ボルトセット：②M10-30×2 ・ プレートワッシャー×2
- レリーズシリンダーブラケット取付ボルトセット：③M8-50×1・M8-15×1・プレートワッシャー×2

リリースシリンダーには調整式プッシュロッドが入っています。調整式プッシュロッドの長さは出荷時に73mmに設定しており、リリースシリンダー内のピストンが取付時に適正な位置に来るようになっていますが、必要に応じ右図を参考に長さを調節してください。

また、クラッチディスクが摩耗してくると、リリースシリンダー内のピストン位置が変わってきますので、随時、右図の位置にリリースシリンダー内のピストンが来るように調整してください。

リリースシリンダーのストローク量：18mm



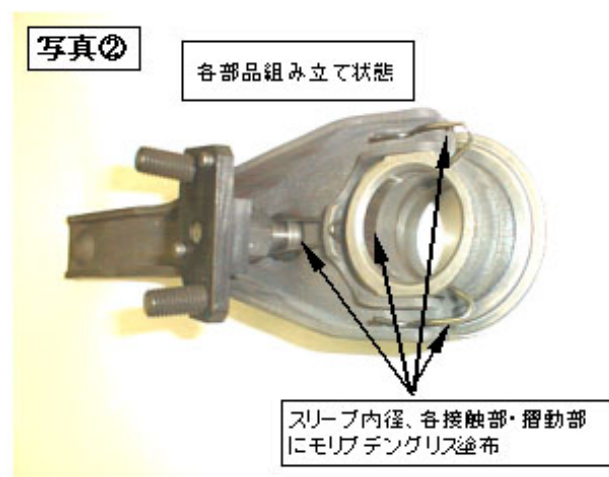
⑩ 専用リリースキットの取り付け NISSAN：R34 GT-R

キット内容

- レリーズフォーク Assy ●ダストカバー ●サポート Assy
- レリーズシリンダーステー ●スリーブ Assy ●銅ワッシャー×2
- サポート取付極低頭ボルト : M10-20×2 ●レリーズシリンダー取付ボルト：M10-30×2

取付手順

1. 純正のレリーズフォーク、スリーブ、サポート、ダストカバーを取り外してください。
2. 写真①を参考に、サポート Assy をトランスミッションに取り付けてください。そのとき、極低頭ボルトにはロックタイト 601 を塗布し締めつけてください。
3. 写真②を参考にレリーズフォーク Assy、スリーブ Assy をトランスミッションに組み付けてください。そのとき、フロントノーズは古いグリスをきれいに拭き取り、モリブデングリスを指で伸ばすように塗ってください。
また、スリーブ内径、レリーズフォーク・スリーブ接触部、レリーズフォーク・ピボット接触部など各部品の摺動部分、接触部分にもモリブデングリスを塗布してください。



4. 純正のレリーズシリンダー、クラッチホースを取り外してください。
5. 写真③を参考にクラッチホース先端にある位置決めの突起を切断してください。



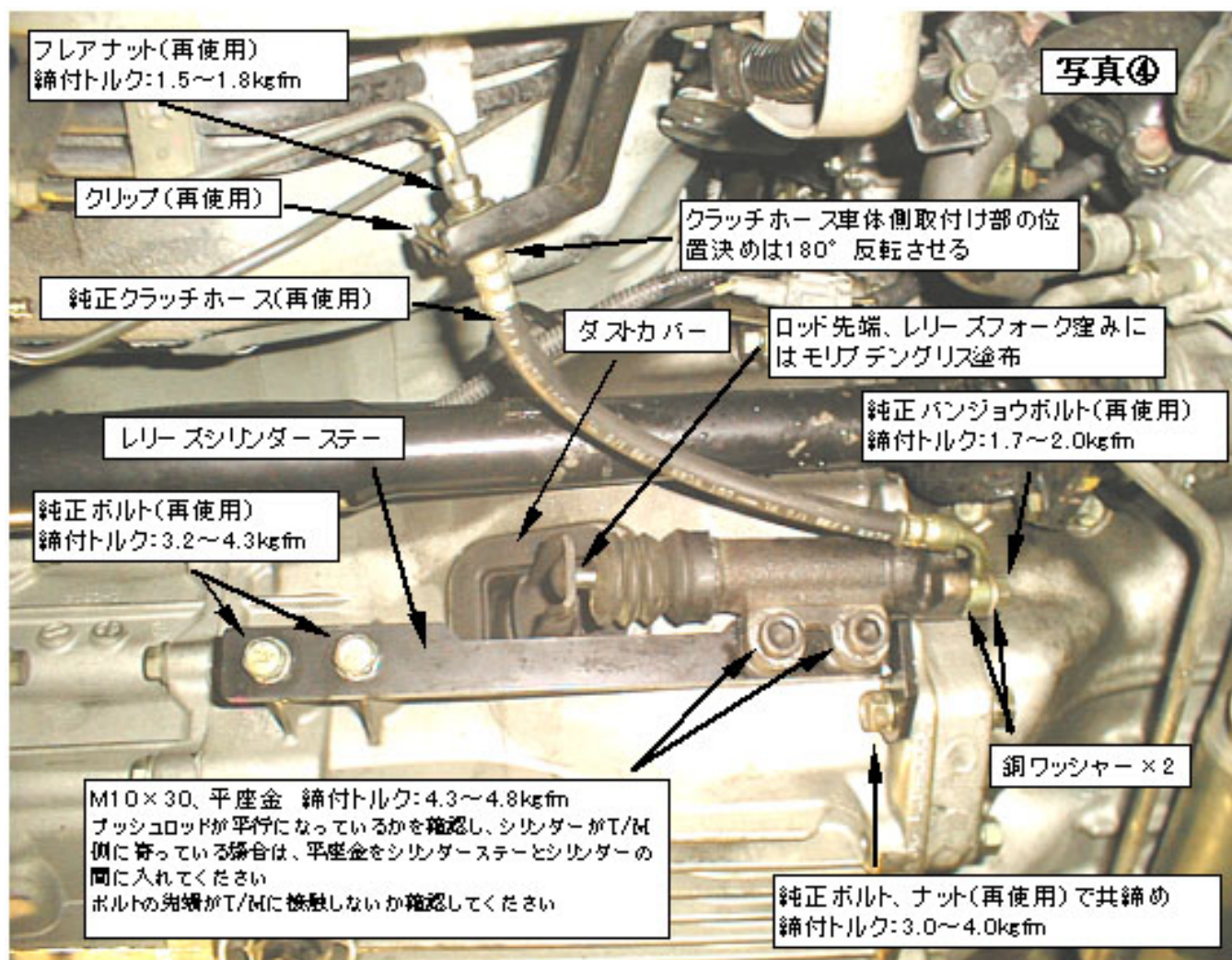
6. 写真④を参考にクラッチホース、リリースシリンダー、リリースシリンダーステー、ダストカバーを組み付けてください。

このとき、クラッチホース車体側取付け部の位置決めは180°反方向きに取り付け、クラッチホースにねじれが出ないようにしてください。

また、プッシュロッドが平行になっているかを確認し、シリンダーがT/M側に寄っている場合は、平座金をシリンダーステーとシリンダーの間に入れてください。

必ず平座金を用いてください。平座金を用いないでシリンダーを取り付けると、ボルトの先端がT/Mに接触して締まりきらず、シリンダーがきちんと取り付けられない場合があります。

また、リリースシリンダー先端部とリリースフォークの窪み部にはモリブデングリスを塗布してください。



7. 各部のネジの締め忘れがないか確認し、リリースシリンダーのエア抜きを行い、ストロークの確認を行ってください。ストロークが不足している場合、切れ不良になる場合があります。ペダル調整等でストロークを確保してください。

シリンダーストローク : 14mm

8. クラッチホースの切断部を脱脂し、防錆塗料で錆が発生しないよう処理してください。

変換キット・注意

- ① 変換キットは定期的にグリスアップしてください。
- ② 変換キットは消耗品です。ホコリや磨耗によって動きが悪くなった場合にはアッセンブリーで交換してください。

⑪ ER34・BCNR33・BNR32 後期用 ブル→プッシュ作動変換パーツ取付方法

車種別に以下の表 1. の部品を別途用意してください

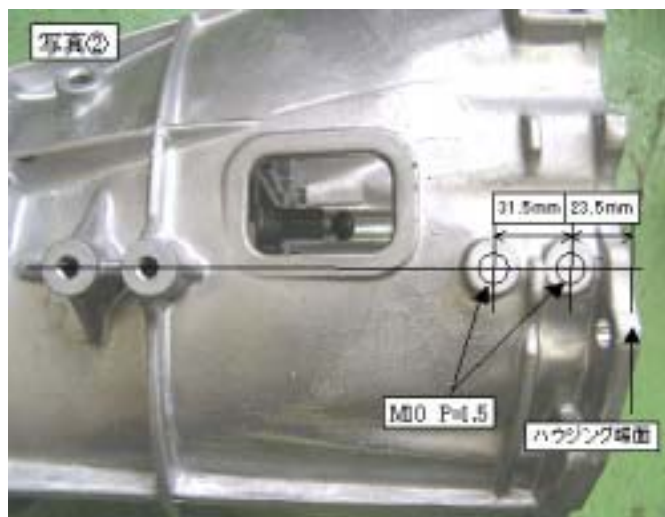
表 1. 作動変換パーツ 日産純正部品番号一覧表

品名	ER34		BCNR33		BNR32 後期 (H5 年 2 月以降)	
	数量	部品番号	数量	部品番号	数量	部品番号
クラッチホース			1	46211-79910	1	30855-05U00
クラッチチューブ			1	30850-17U10	1	30850-04U00
クラッチホース、チューブ固定ブラケット			1	30635-15U00	1	30635-01U00
銅ワッシャー	2	46237-A4600	1	46237-A4600	2	46237-A4600
バンジョウボルト					1	46356-0E000
レリーズフォーク	1	30531-01S00	1	30531-01S00	1	30531-01S00
ダストカバー	1	30542-31G10	1	30542-31G10	1	30542-31G10
ミッションフロントカバー Assy	1	32110-05U11	1	32110-05U11	1	32110-05U11
ミッションフロントカバーガスケット	1	32112-05U12	1	32112-05U12	1	32112-05U12
スプリング (スリーブ側)	1	30514-14600	1	30514-14600	1	30514-14600
スプリング (レリーズフォーク側)	1	30534-E9000	1	30534-E9000	1	30534-E9000
レリーズシリンダー Assy	1	30620-21U01	1	30620-21U01	1	30620-21U01

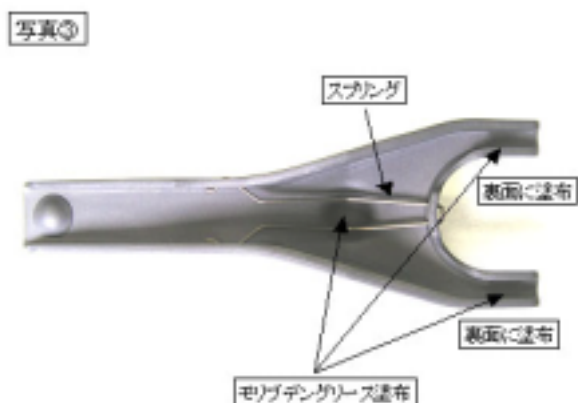
注) ツインにはスリーブ Assy が付属されていません。別途スリーブ (純正品番: 30501-U0200)、
レリーズベアリング (純正品番: 30502-14601) をご用意ください。

取付作業手順

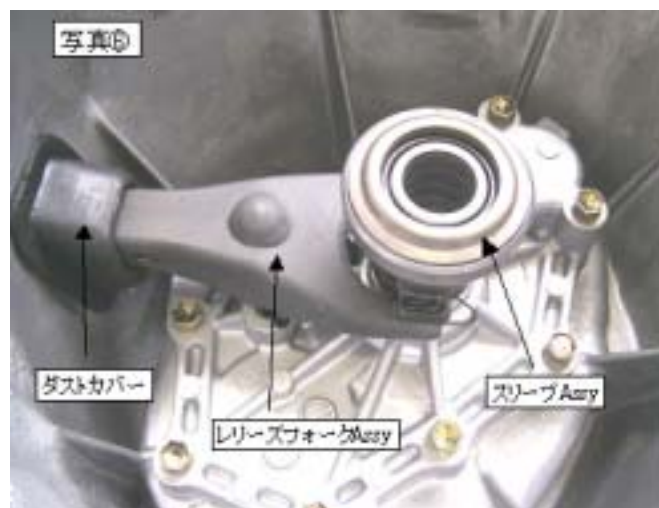
1. トランスミッションオイルを抜いてください。
2. クラッチハウジング内の 9 本のボルトを取り、フロントカバー Assy をトランスミッションから取り外してください。組み付け時にボルトの長さを間違わないように、付いていた場所にマーキングを行ってください。
3. 別途用意していただいたガスケット、フロントカバー Assy を取り付けて下さい。
組み付け時には、下側の 3 本のボルトのネジ部にはシール剤を塗布し、組み付けてください。
(次頁写真①参照)



4. 写真②を参考にリリースシリンダー取付けのネジを加工してください。ネジを加工する際は、加工面に垂直になるようネジを切ってください。[ネジ径 M10 P=1.5 (下穴径φ8.5)]
5. 別途用意していただいたリリースフォーク及び付属のスリーブ Assy (ツインの場合は別途用意していただいたもの) にスプリングを取り付け、各摺動部、スリーブ内周部にはモリブデングリース (推奨グリース：日産純正部品番号 KRi06-00010) を塗布してください。(写真③、④参照)



6. フロントカバーのスリーブ摺動部、ピボット上部にモリブデングリース (推奨グリース：日産純正部品番号 KRi06-00010) を塗布した後 (次頁写真⑤参照)、一度スリーブ Assy をフロントカバーに挿入し、はみ出したグリースを拭き取ってください。ダストカバー、リリースフォーク Assy、スリーブ Assy をトランスミッションに取り付けてください。(次頁写真⑥参照)
リリースフォークはピボット側に押しつけ、確実にピボットと連結させてください。

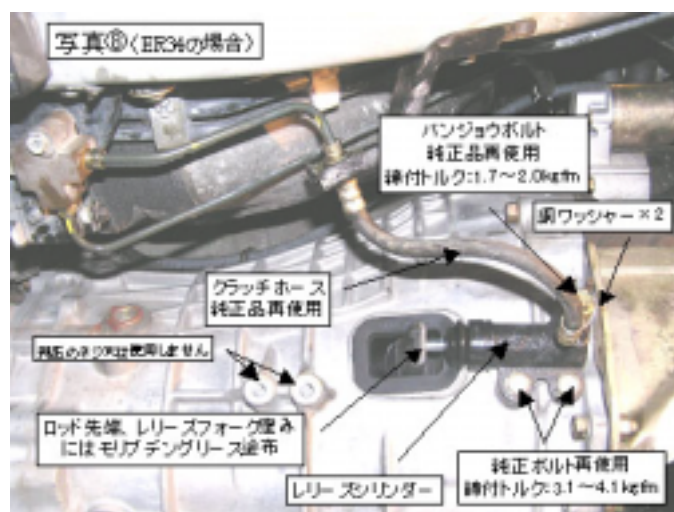
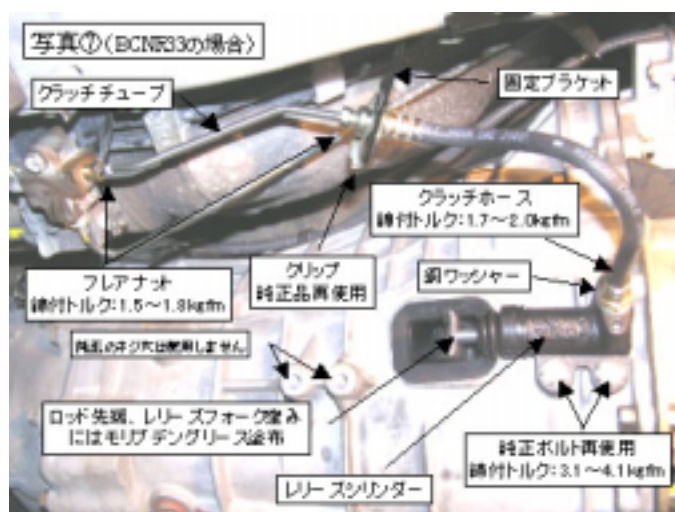


7. トランスミッションを車両に取り付けた後、リリースフォークとプッシュロッドが接触するくぼみにモリブデングリース（推奨グリース：日産純正部品番号 KRI06-00010）を塗布し、別途用意していただいたリリースシリンダーAssy、クラッチホース、クラッチチューブ、固定ブラケットに交換して下さい。（写真⑦参照）

ER34 の場合はクラッチホース、クラッチチューブ、固定ブラケットの交換は不要です。（写真⑧参照）

BNR32 後期の場合、同様の部品構成となりますが、形状は写真と異なります。

クラッチホース取付け時には、無理な力が掛からないように取りまわしを行い、他部品との干渉がないか確認してください。



8. トランスミッションオイルを規定量入れ、サービスマニュアルに従いクラッチフルードのエア抜きを行い、推奨のシリンダーストロークになるように調整を行ってください。

シリンダーストローク推奨値 : 15.2mm (15.7mm を絶対に超えないようにしてください)

作業終了後、クラッチフルードの漏れがないか、再度確認を行ってください。

⑨ 各部の締め付けトルク

	車種	ENGINE	締め付けトルク kg/m クランクシャフト×フライホイール
TOYOTA	EP82,EP91	4EFT	9
	ZZW30	1ZZ	8 (付属ボルト)
	SW20,ST205	3SGT	8 (付属ボルト)
	SXE10	3SGE	11 (付属ボルト)
	JZX90,JZX100,JZZ30	1JZGT	12 (付属ボルト)
	AE86	4AG	8 (付属ボルト)
	ZZT231	2ZZGE	8 (付属ボルト)
	JZA80	2JZGT	12 (付属ボルト)
NISSAN	PS13,PS14	SR20DET	8.5～9.5
	S15	SR20DET	8.5～9.5
	R31,R32,R33	RB# フッシュ	14.5～15.5
	BNR32, 33 、 ER34	RBﾌﾞﾙ	14.5～15.5
	BNR34	RB26DETT	14.5～15.5 (付属ボルト)
MAZDA	FC3S、FD3S	フライホイールセンターナット	40～50
	FC3S、FD3S	カウンターウェイトボルト	8.5～10

⑩ クラッチリリーススリーブ基準寸法（日産車）

車種		ENGINE	クラッチリリーススリーブ 基準寸法
NISSAN	PS13,PS14	SR20DET	16～18
	S15	SR20DET	18～20
	R31,R32,R33, BNR34	RB#	14～16

⑪ クラッチリリーススリーブ純正品番表

長さ	品番	長さ	品番
12mm	30501- A3800	22mm	30501- S0160
14mm	30501- N1601	24mm	30501- OH600
16mm	30501- U0200	26mm	30501- K0510
18mm	30501- A6801	28mm	30501- N1600
20mm	30501- B6000	30mm	30501- N8470

⑫ 故障と思う前に

故障と判断する前に下記の点をもう一度確認してください。

- 部品は正常に、しっかりと取り付けられているか確認してください。取付が不十分な場合は、動作不良の原因となります。
- 配管、シリンダー等からフルードが漏れていないか確認してください。フルードが漏れている場合は、動作不良の原因となります。最悪の場合はクラッチが動作しなくなり危険ですから、至急修理してください。
- リリースシリンダーとリリースフォークの角度がずれていないか確認してください。角度がずれたままにしておきますと、リリースシリンダーやリリースフォークに無理な力が掛かり、動作不良の原因や故障の原因となります。
- リリースの各摺動部や接触面にクラッチグリースが塗布されているか確認してください。偏摩耗や動作不良・異音の原因となります。
- トランスミッションのインプットシャフト・クラッチハウジングノーズ部に対して、クラッチディスク・クラッチリリースハブはスムーズに動くか確認してください。引っかかり等がありますと、動作不良の原因となります。



■製品についてのご相談先

本製品についてのお問い合わせは、下記宛にお願いします。

- 連絡先 (株)ブリッツ
- 住 所 愛知県安城市高棚町大道40-1
- TEL 0566 - 79 - 2200

取扱説明書番号	6549904
初版作製年月日	2000 . 10 . 26